



## 台湾の修学旅行団が 利根商生と交流/みなかみの農家に民泊

振興、地域経済の活性化を目的に県が受け入れる「募  
集型修学旅行」団で、台湾  
全域より25人から70人の団  
体で年に20組以上が本県を  
訪れている。  
22日に利根商で歓迎セレ

台湾の高  
校、新竹県  
立六家高級  
中学(しん  
ちくけんり  
つろつかこ  
うきゆうち  
ゆうがく)  
の1、2年  
生31人(引  
率3人含  
む)が1月  
22・23日に  
みなかみ町  
を訪れた。  
国際交流  
促進と観光

モニーが開  
かれ、県の  
キャラクタ  
ーぐんまち  
やんが台湾  
の生徒を先  
導して体育  
館に入場  
写真。同  
商吹奏楽部が演奏で歓迎  
し、食事やドッジボールで  
交流した。  
一行は両日とも、同町新  
治地区の農家7軒に分れて  
宿泊。うどんやのり巻き作  
り、雪遊び、日帰り温泉へ  
入浴など、日本の田舎の暮  
らしをそれぞれに体験し  
た。  
県によると、帰国後も高  
校生同士は、フェイスブッ  
クやラインなどのSNS  
(ソーシャルネットワーク  
ングサービス)で交流して

モニーが開  
かれ、県の  
キャラクタ  
ーぐんまち  
やんが台湾  
の生徒を先  
導して体育  
館に入場  
写真。同  
商吹奏楽部が演奏で歓迎  
し、食事やドッジボールで  
交流した。  
一行は両日とも、同町新  
治地区の農家7軒に分れて  
宿泊。うどんやのり巻き作  
り、雪遊び、日帰り温泉へ  
入浴など、日本の田舎の暮  
らしをそれぞれに体験し  
た。



いるといい、町の担当者  
は、「大人になったらまた、  
みなかみ町を訪れてほし  
い」と期待していた。